

令和元年度 第3回 エルシーブイ放送番組審議会 議事録

■開催日時 令和元年12月25日(水) 午後1時30分～午後3時00分

■場所 エルシーブイ株式会社 本社1階会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員 (5名)

市川	純章	委員
河西	滋子	委員
杉本	研一	委員
井上	淳哉	委員
菊池	大介	委員

放送事業者側 (7名)

吉澤	君弘	代表取締役社長
大野	揚史	専務取締役
佐久	章展	放送制作部長
八幡	聡	放送制作部 制作課長
吉田	和晃	放送制作部 報道課長
山岡	正和	放送制作部 制作課
原田	久美子	事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 市民祭岡谷太鼓まつり 50 周年記念番組
～和太鼓の志 脈々と～

<委員からの主な意見>

□評価意見

- ・第1回の歴史を丁寧に紹介していた。太鼓に対する思いが感じられ、対象に対して愛情を持って作っているという印象。
- ・写真資料しかないような場面も、ズームを使ったりして飽きさせない工夫をしていて効果があった。
- ・引いた画が多い中で、インタビューでは寄っていたところがメリハリがあって良かった。
- ・LCV は祭りの扱いが上手だと感じた。押さえどころがわかっている。すんなり見ることができたし、地元の局ならではのアーカイブだと思った。
- ・地域の視聴者にとって、自分・家族・知り合い等が映っているのは大事なこと。みんなにとっての記念にもなる。
- ・太鼓は騒々しいものというイメージから鑑賞するものへ変えさせた小口大人さんは偉大だと思う。その指導のもと太鼓まつりが50年続いてきたという情熱が感じられた。
- ・アーカイブ映像は懐かしかった。
- ・50周年のために2年前に『脈々』を選び、全員で揃い打ちをするという企画を立てたことは素晴らしいと思った。
- ・BGM に特に違和感はなかった。
- ・写真のバックなどの BGM はノスタルジックでいい感じだと思った。気にならずに見られた。

□指摘意見

- ・打ち手側からの視点ばかりだったのは残念。楽しんでいる観客のコメントや、大勢の裏方の協力もあり成り立っているという視点があってもよかった。
- ・ニュースに少し足しただけという印象。もうちょっと各カットを短めにしたり、保存会所属団体の一覧や観ている側の視点などもあった方が記念番組としてはよかったのではないかと。事実の紹介だけになっていた。
- ・「市民祭」と番組名にあるが太鼓の演奏だけになってしまっている。オープニングでは太鼓以外の出し物が出ていたが、本編では全く出てこず市民祭としての祭りの全貌がわからない。
- ・ナレーションで少し語られるも映像がなく話だけで進むようなことが多い。解説もなく背景もわからないままに事実だけを事細かに語られても共感が持てない。それぞれにドラマがあるはずなので、それらを順序立てて見せていかないと気持ちが入っていかない。
- ・番組資料の「制作意図」を読んでも意図が書かれておらず狙いもわからない。
- ・インタビューは歴史的な事実だけを本人が語るのであれば、そこに価値が見出せない。本人の考えや感じたことを語ってもらうところに価値がある。
- ・インタビューをただ画として使っているところが残念。

- ・太鼓の風景映像としては素晴らしかったが、それ以上の内容は伝わってこなかった。また子どもたちの挑戦や指導者の指示などのシーンは、雰囲気はあるが情報がなかった。
- ・指導員の熱い指導は練習する人に届いたのか、などの好奇心を追いかけるようなことがあってもいい。
- ・商業祭から市民祭に変わったということだが、どんな問題意識があって変えていったのか、何どう変わったのかわからない。
- ・新曲の選考にドラマがあったはずなので、そこを取り上げることができていればよかったが、それができていないのに50周年記念と謳ってしまってよいのか。
- ・50周年記念番組というのだから、年代ごとにスライドショーのように静止画だけでも並べていくようなことはできなかったか。服装や髪形の移り変わりなどがあれば50年間が実感できるのに、一番古いものと最新のものしか対比がなかった。
- ・太鼓＝日本伝統というのに違和感があった。小口大八さんが鑑賞音楽としての太鼓演奏を生み出したということを言わないと違和感は消えないと思うが、番組では解消されなかった。
- ・祭りの練習だけでなく、個々の保存会がどんな活動をしているかという紹介がほしい。
- ・協力団体数、参加企業、年齢層などの具体的なデータがあればよかった。
- ・1時間番組にしたかったというディレクターの反省があったが、余程でないとなら1時間は長い。30分という長さはちょうどよかったと思う。
- ・この構成のまま1時間はつらいと思うが、いろいろな要素を入れていくと30分では短い。構成を何とかすれば長くできる可能性もある。
- ・個人的な興味だが、番組尺をネット動画のように10分にしたらどうなるのかと思った。今どきの若い人が長い映像だと飽きてしまうということもあり、膨大なアーカイブを若い人に紹介するような場合に興味を持ってもらうような手段にもなるかも。
- ・この内容なら10分や15分で充分。
- ・BGM が気になった。特に『風林火山』の場面では曲を聴かせる配慮があってもよかった。
- ・PC で見たからか、BGM がうるさくしゃべっている声が聞き取れなかった。インタビューのバックにBGMを入れる意図がわからない。
- ・インタビュー時に雑音が聞こえた。もうちょっと気を配ってほしい。
- ・ディレクターの感性は非常に大事だと思う。感性を磨くための努力をして番組作りに役立ててほしい。